

MEET UP CHUBU

Vol.39

CN(バイオマス・竹資源活用)

with 岐阜大学グローバル推進機構

PROGRAM

◆「開会挨拶」

岐阜大学 グローバル推進機構長 小山 博之 氏

◆「グローバル推進機構の取組紹介」

岐阜大学 グローバル推進機構 副機構長 海老原 章郎 氏

◆「カーボンニュートラルに貢献する日本ガイシのセラミック技術」

日本ガイシ株式会社 NV推進本部 CN事業開発 CN2 主任 飯田 和希 氏

◆「自動車部品メーカーが検討中の未利用バイオマスの利活用」

株式会社エフ・シー・シー 新事業開発部 事業探索課 上原 和也 氏

◆「常温生竹微粉末製造機」の特徴

丸大株式会社 代表取締役 大石 誠一 氏

◆「植物由来バイオマス粉を配合した新規複合プラスチック・ゴム成形物の原料調整法の確立」

株式会社テクノプレニードヒダ 代表取締役 肥田 彰吾 氏

◆「関連企業等による取組紹介」

愛知海運株式会社/株式会社十六銀行/Indobox株式会社/弁護士法人ばてな/TMI総合法律事務所

申込
方法

主催



経済産業省
中部経済産業局
Chubu Bureau of Economy, Trade and Industry



一般社団法人
中部経済連合会
CENTRAL JAPAN ECONOMIC FEDERATION



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

岐阜大学は インド北東部の中核大学であるインド工科大学グワハティ校（IITG） 2/11
と国際共同学位プログラム（JDP）等の交流プログラムを実施中



テーマ：インド北東部との多層的な連結性

内閣府政府広報室（2024年3月26日）





インド・アッサム州の竹資源研究所で撮影



岐阜大学グローバル推進機構
三輪真一先生

【社会的背景】

- ・インドは世界一の竹資源保有国
- ・この竹資源は未利用（一部、建築、工芸用に利用）
- ・インド政府は北東インドの竹バイオマスの資源化に動いている

【竹資源利活用への期待】

- ・バイオエタノール生産
- ・複合材料開発
- ・機能性成分
- ・北東インドの農業者の収入増



【お誘い】 岐阜大学JDPコンソーシアムへのご加入

5/11

(コンソーシアムの趣旨)

インド工科大学グワハティ校(北東インド・アッサム州)及び
マレーシア国民大学(マレーシア・クアラルンプール)と共に、
各大学が関連する地域企業を繋ぐことで、ジョイント・ディグリー
プログラム (JDP) 活動の地域・産業界への波及に取り組む。

(会員または準会員)

- 1) 会員: 趣旨に賛同する企業及び団体等とする。
- 2) 準会員: 趣旨に賛同する企業及び団体等に属する個人、または
企業及び団体に属さない個人とする。

(コンソーシアム活動の経費負担等)

- 1) 年会費等は徴収しない。
- 2) 有料行事以外は参加費等を徴収しない。



詳しくはこちら
(入会申込書有)

(具体的活動例)

- 1) 官公庁訪問
- 2) インドJDPシンポジウムへの参加(3月上旬)
- 3) インド高度人材やインド留学した日本人学生との交流

年 月 日

入会申請書

岐阜大学 JDP コンソーシアム事務局 御中

岐阜大学 JDP コンソーシアムの目的、活動に賛同し、下記のとおり、入会を申請します。なお、入会にあたっては、岐阜大学 JDP コンソーシアム規約を遵守いたします。

記

【会員用】

1. 企業または団体名	名 称:
	住 所:
	連絡先 (メールアドレス、電話番号):
2. 担当者	氏 名:
	所 属:
	役 職:
	連絡先 (メールアドレス、電話番号):

【準会員用】

氏 名:
所 属 (任意):
役 職 (任意):
連絡先 (メールアドレス、電話番号):

※ 会員用または準会員用のどちらか一方の枠にご記入ください。

※ 入会申請書に記載された情報はコンソーシアムの運営のみに利用します。

※ 入会申請書は下記までご送付ください。(送付は電子媒体・紙媒体の種別は問いません)

岐阜大学学務部国際事業課国際総務室 kokuai@t.gifu-u.ac.jp

〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

受理日	整理番号

※本学記入欄